

平成31年度 キャリア教育全体計画

岡山県立笠岡高等学校

生徒の実態 ・素朴で素直であり、大半の生徒が国公立大学進学を目指している ・基本的な能力は高いが、周辺に強力なライバル校が少なく、競争意識が希薄である	学校教育目標 志高く自らの人生と社会の未来を拓く人を育てる	保護者の願い ・幅広い知識・技能を習得し、進路実現のための実践力を身につけてほしい ・個性を最大限に伸ばし、充実した高校生活を送ってほしい
地域の実態 ・地域に卒業生が多い ・県南の JR 沿線に立地し、交通の便はよい ・学区の上位層が進学してくるが、他の学区への進学者もいる ・少子化のため、入学定員が減少している	育てたい人間像 ○知・徳・体の調和のとれた人格を身につけた人 ○新しい時代に必要な6つの力、未来開拓力を身につけた人 ○生涯にわたって主体的に学び続け、地域社会やグローバル社会に貢献できる人	地域の願い ・地域の拠点校としてさらに発展してほしい ・地域の若者のリーダー的な存在になってほしい ・学校の教育活動に積極的に協力したい
	キャリア教育目標 ー志を育むキャリア教育で未来を拓くー 社会に開かれたカリキュラムで、系統的なキャリアプログラムに基づいた進路指導を進め、自らの人生と社会の未来を考える活動をとおり、社会の中で役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくために必要となる資質・能力、未来開拓力を育む。	

育てたい資質・能力 未来開拓力：社会の中で役割を果たしながら自分らしい生き方を実現し、新しい知や価値を創造していくために必要な資質・能力			
人間関係・社会形成能力 ・協働力 多様な他者とコミュニケーションをとり協力する力	自己理解・自己管理能力 ・省察力 自らの行動を振り返り、改善し、前に踏み出す力	課題対応能力 ・教養力 幅広い教養と課題発見・解決のための知識・技能 ・思考力 論理的に考え、批判的に掘り下げ、創造する力 ・表現力 思考・判断の結果や経過をわかりやすく伝える力	キャリアプランニング能力 ・志力 志高く挑戦し、主体的に人生や社会の未来を拓く力

各年次の重点目標及び主な活動内容		
1年次	2年次	3年次
○重点目標：自分を知り、社会を知る 自己理解を深めるとともに社会理解を進め、自分の適性を見極める。	○重点目標：自分と社会との関わりを考える 社会の在り方や自分と社会とのより良い関わり方を考え、自分の進路を研究する。	○重点目標：自分の進路を拓く 自分の能力・適性にあった具体的な進路を定め、希望進路を実現させる。
○主な活動内容 【各教科・科目】 授業を中心とした学習習慣を確立し、基礎基本を確実に定着させる。 【総合的な探究の時間】 ・キャリアセミナーⅠ「高校入学講座」 ・大学リサーチ ・地域学 ・キャリアセミナーⅡ「広島大学訪問」 ・意見文作成 ・キャリアセミナーⅢ「企業訪問※」 【特別活動他】 進路LHR、進路講演会、学習方法体験セミナー、千鳥スターティングプログラム 文理選択LHR、難関校ガイダンス 難関大学訪問、東大ツアー、生徒面談	○主な活動内容 【各教科・科目】 基礎基本をもとに発展的内容を身につけ、学力を充実させる。 【総合的な探究の時間】 ・テーマ探究 ・キャリアセミナーⅣ「キャリア研修」 ・キャリアセミナーⅤ「大学出張セミナー」 ・大学・学部・学科リサーチ ・学びの計画書作成 【特別活動他】 進路LHR、進路講演会、小論文講演会 医療系ガイダンス、難関校ガイダンス 岡大合同学習合宿、難関大学訪問 難関大合同学習合宿、生徒面談	○主な活動内容 【各教科・科目】 自己実現に向け、それぞれの進路目標に対応した学力を身につける。 【特別活動他】 進路LHR、進路講演会、小論文講演会 医療系ガイダンス、難関校ガイダンス 生徒面談

各教科・科目	総合的な探究の時間	特別活動他
・自己実現に向け、それぞれの進路目標に対応した学力を身につけさせる。 ・「千鳥型学習指導のスタンダード」による主体的・対話的で深い学びをとおして、学ぶ意欲と確かな学力を身につけさせ、キャリア形成につなげる。 ・教科・科目の学習と現在及び将来の生活を結びつけることにより、学ぶ意義を理解させる。 ・幅広い教養と世界・社会の状況の変化やその課題を理解するための知識を獲得する。	・名称：ACT 一人ひとりが主体的に（Active）、じっくりと考え（Thinking）、自分らしく創造（Creative）する時間 ・「各教科・科目」、「特別活動」他を有機的につなげ、教科・科目で学んだ知識を関連づけて活用する教科横断的な学び（課題探究）、社会と自らの生き方を関連づけて考え、主体的に自身の進路を拓く学び（キャリア探究）を進め、新しい時代に必要な6つの力、未来開拓力を育む。	・学校行事や社会貢献活動等での主体的な活動をとおり、社会の中での自分という面に目を向けさせ、社会性や自己を生かす能力や態度を育成する。 ・生徒会活動、千鳥祭、部活動 グローバル&サイエンス・プログラム 千鳥ボランティア、千鳥ゼミ、読書活動 校内外のさまざまな学習機会 ・自己の在り方・生き方と進路について考察する学習活動をとおり、生徒に明確な目的意識、進路意識を持たせ、主体的に進路を選択する意欲態度を育成する。 進路LHR、進路講演会、生徒面談等

キャリア教育を推進するための基盤		
小中高大の連携	家庭・地域との連携	生徒指導
・小中高接続プログラムやキャリアセミナー等をとおり、小学校、中学校、大学と連携した系統的指導を行う。	・キャリア教育のプログラム内容、進路に関わる情報等を、保護者に情報発信し、理解を図る。 ・教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用し、教育を学校内に閉じることなく、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させる。	・積極的な生徒指導体制をとおり、規範意識を向上させるとともに、基本的な生活習慣や倫理観、健全な社会参画意識を確立させる。